

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 3 月 8 日作成)

小委員会名	JASS 24 断熱工事改定小委員会	主 査 名：福島 明 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (内外装工事運営委員会)	委員長名：本橋健司 主 査 名：本橋健司
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・「建築工事標準仕様書・同解説 JASS 24 断熱工事」を改定する。 ・2010 年度～2011 年度：原稿案の作成 ・2012 年度：本委員会査読、原稿案見直し、仕様書の発行、講習会の実施 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：福島明 (北方建築総合研究所) 幹事：立松宏一 (北方建築総合研究所)、宮内亨 (断熱建材協議会) 委員：小浦孝次 (断熱建材協議会)、佐藤民佳 (北海道建築技術協会)、 鈴木大隆 (北方建築総合研究所)、砂川雅彦 (砂川建築環境研究所)、 布井洋二 (断熱建材協議会)、長谷川拓哉 (北海道大学)、 長谷川寿夫 (北海道建築技術協会) 連絡委員：近藤靖史 (東京都市大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2012 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	10 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	建築工事標準仕様書・同解説 JASS24 断熱工事
講習会	1. JASS24 改定講習会 参加者数 東京 113 名・大阪 37 名・仙台 21 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 1995 年に第 1 次改定版が刊行された JASS24 について、その後の技術的な進展や関連法規の改正、社会的な情勢の著しい変化に対応した全面的な改定を行った。 2. 2013 年 2 月に、JASS24 の第 2 次改定版を刊行した。 3. 2013 年 2 月に東京、大阪、仙台の 3 会場で講習会開催 以上の成果により、小委員会の設置目的は達成したと考えられる。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 建築・住宅用断熱建材の統一 JIS 化などの動きが現在進行中であり、今後もそれらの動向をみながら改定の要否を判断していく必要がある。 2. 講習会の参加人数が想定よりも少なかった。学会の会員以外にも、実際に JASS の活用が期待される技術者に広く周知されるよう工夫する必要がある。